

第6回 トラック輸送における取引環境・労働時間改善神奈川県地方協議会

議事録

1. 日時

平成 29 年 3 月 15 日 (水) 14:00~15:10

2. 場所

神奈川県トラック総合会館 7階 大研修室

3. 出席者

小島 一貴	(代理出席)	日産自動車株式会社
斉藤 康浩		株式会社日新
刑部 佳英	(御欠席)	全農物流株式会社
伊澤 進		横浜低温流通株式会社
高橋 浩治	(御欠席)	川崎運送株式会社
伊藤 保義		内外液輸株式会社
近藤 晶一		一般社団法人神奈川県商工会議所連合会
畑野 耕逸	(御欠席)	一般社団法人神奈川県経営者協会
亀崎 友彦		全日本運輸産業労働組合神奈川県連合会
仙田 康博		神奈川県産業労働局中小企業部商業流通課
藤永 芳樹	(御欠席)	厚生労働省神奈川労働局
菊池 泰文		厚生労働省神奈川労働局
河村 俊信	(代理出席)	関東運輸局局長
遠藤 恭弘		関東運輸局神奈川運輸支局
吉田 修一		一般社団法人神奈川県トラック協会
石橋 廣		一般社団法人神奈川県トラック協会
神志那 学		一般社団法人神奈川県トラック協会
寺崎 慎一		一般社団法人神奈川県トラック協会
坂間 孝朗		陸上貨物運送事業労働災害防止協会神奈川県支部

4. 議事

【事務局（運輸支局・青木）】

ただ今より、第6回トラック輸送における取引環境・労働時間改善神奈川県地方協議会を開催させていただきます。

関係者の皆様方におかれましてはお忙しい中、本会議にお集まり頂き誠にありがとうございます。

神奈川運輸支局運輸企画専門官の青木でございます。本日もどうぞよろしくお願いいたします。議事に入るまでの進行につきましては、私が努めさせていただきますので、何卒よろしく願い申し上げます。

それでは、配付資料を確認させていただきます。

議事次第、続いて委員名簿、配席図、資料1、資料1-2、資料2、資料3、資料4、参考資料として「トラック運送事業者のための価格交渉ノウハウ・ハンドブック」、「運送委託者の方へのお知らせ」を配布しております。不足等ございますでしょうか。

不足等ございましたら、会議途中で結構ですので、事務局あてお申し付けください。

では、本日まで出席いただいております委員の皆様方をご紹介させていただくところでありますが、大変申し訳ございませんが、委員の方々及び代理出席の方々につきましてはお手元にお配りしております『出席者名簿』、『配席図』をもってご紹介に代えさせていただきます。

また、本日は議題1.「第5回トラック輸送における取引環境・労働時間改善中央協議会及び第4回トラック運送業生産性向上協議会の概要について(報告)」にて、関東運輸局自動車交通部の高山次長に、議題2.「平成28年度パイロット事業の報告について」にて、株式会社日通総合研究所の大島様にそれぞれご出席いただきご報告いただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、協議会の開催に当たりまして、行政を代表しまして、関東運輸局 河村(かわむら)次長より一言ご挨拶申し上げます。

【河村次長】

ただいまご紹介いただきました、関東運輸局次長の河村でございます。

まずは年度末のお忙しい中、皆様にお集まりいただきまして誠に有難うございます。また、日頃から国土交通省関東運輸局の行政に多大なるご理解・ご協力いただいておりますことにお礼申し上げます。

さて、この協議会も2年目の第6回の開催ということになりますが、トラック、物流を取り巻く環境について、協議会を始めたころに比べ変わってきていると感じております。もちろん、物流の課題と言うのは昔からあるわけですが、なかなか世の中にご認識いただけるということはないのですが、昨年からの働き方改革を含めまして、政府をあげて取り組んでいるということもあります。直近で言うとはやはりインパクトがでかかったのはヤマト運輸の事業の見直しについてで、広く報道されているところでございます。物流の課題と言うのは今に始まったことではありませんから、物流の関係者、荷主の皆様、それ以外の一般の経営者の方々、一般の国民の方々に対して、物流の課題をご理解いただいたということで、インパクトがあったのではないかと思います。喜ぶべきことではないかもしれませんが、我々がこの協議会において苦労してきたところでございまして、物流の課題について進めていこうとすると、一般の社会の方々、国民の皆様のご理解が得られないという中で、それでも物流を止めるわけにはいきませんので、その中でどうやって労働時間の短縮に繋げていくかを悩んでいるわけですが、このような形で社会の関心が高まっているのはいいことではございませんが、一つの追い風になるとは思っております。これから、様々な取組を進めていくこととなりますが、このような協議会に社会的な関心が高

まっていますので、責任は重大だと思っております。

現在、国土交通省でもこういう状況でございますので、昨年来、石井大臣は生産性革命元年と称しまして、物流についても「物流生産性革命」と銘打って取組を様々進めております。この協議会も文脈の中では物流効率化生産性革命の一つの手段でありますけど、それ以外でもトラック事業の取引状況の改善、生産性向上に向けて、関東では2月14日にすでに開催されておりますが、ブロック毎のセミナーを相次いで開催しております。

また、荷主とトラック事業者、荷主と荷主など、多様な組み合わせにおいて、協力・連携による生産性向上の考え方などを整理し、成功事例を紹介する「手引き」を国土交通省において作成中ですので、来年度の協議会でご紹介したいと思っております。そのような様々な手段で取組を進めているところでございます。

また、地方協議会につきましても関東管内のそれぞれの地域で、パイロット事業を進めさせていただいておりますが、本日は実証実験の結果をご報告させていただくということで、次年度に繋げていくという橋渡しの会議ということで実りある議論をしていただければと思っておりますのでご協力をお願いしまして、私からのご挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

【事務局（運輸支局・青木）】

ありがとうございます。頭撮りはここで終了とさせていただきます。

退出される記者の方は、ここで退出をお願いいたします。

それでは、これより議事に入らせていただきます。

ここからの進行は、前回到引き続き遠藤支局長にお任せ致します。遠藤支局長よろしくお願ひ致します。

【遠藤委員】

神奈川支局の遠藤でございます。本日はお忙しい中、本協議会にご出席いただきましてありがとうございます。平成27年度よりスタートしまして、本日が6回目の開催となります。本日は神奈川県協議会のパイロット事業の結果について報告がございますので、活発なご意見をお願いいたします。

それでは、議事次第の議題1、「第5回トラック輸送における取引環境・労働時間改善中央協議会及び第4回トラック運送業生産性向上協議会の概要について（報告）」、関東運輸局自動車交通部の高山次長よりお願いします。

【関東運輸局：高山】

議題1「第5回トラック輸送における取引環境・労働時間改善中央協議会及び第4回トラック運送業生産性向上協議会の概要について（報告）」について説明

～省略～

【遠藤委員】

ありがとうございました。

中央協議会の概要説明であることから、本局の担当者が皆様の質問にお答えすること

はできませんが、中央協議会に対する要望があれば神奈川県協議会事務局までお願いします。

続きまして、議題2「平成28年度パイロット事業の報告について」について、パイロット事業のコンサルである日通総合研究所の大島様より報告をお願いします。

【日通総研・大島】

議題2「平成28年度パイロット事業の報告について」について説明
～省略～

【遠藤委員】

大島様、ありがとうございます。

只今の報告につきまして、労働時間の短縮について確認したい点や今後の課題に対する取り組み方法などへの意見ををお願いします。

～意見なし～

積込み時間の指定をしたことで、拘束時間の短縮効果があった実証実験になっていますが、今回の運送はスポット配送になりますが、どのくらいの回数行われたのでしょうか。

【日通総研・大島】

全体の回数は3ヶ月の間に十数便くらいになります。必ずしも毎日というわけではありません。数としては決して多くはないです。

【遠藤委員】

十数便だから、指定がスポット的に当てはまって調整出来たということですか。

【日通総研・大島】

そうです。まず、そこから調整することは出来ました。ただ途中で書かせてもらいましたが、少なくとも出荷の予定が当日決まるわけではないので、前日までに決まっているものに対して、積込み作業の順番をどうするかということについて、さらに詳細にタイムスケジュール化をしていくことは可能ではないかという点についてはこの中でも指摘させていただきましたし、その後の最後の検討会においても指摘させていただきました。それでもやりきれない部分の一つの要因として途中ありましたが、備車を特に帰り便を使っているということにおいて、前の日もしくは当日の仕事によって、何時に来られるかは確定しないので、前の日からきちんと時間を決めることは難しいので、その日の状況に応じて適宜行っている部分があります。

【遠藤委員】

今回は、荷主、運送事業者等の連絡がうまくいって、積込みの会社にも連絡がいて、荷主と運送事業者が協力して出来た1件ではないかと思います。拘束時間、待ち時間を減

らすことが出来たのではないかと思います。今後の課題として、指定した時間に運送事業者が入ってこないということもありますし、どうしても時間的な余裕をもって運行してしまうことが課題として残っているとのことです。

時間的には何分単位の短縮、スポット的な運送の実証実験になりますので、荷主と運送事業者の中で積込み時間の指定が必要になっていくのではないかと思います。

この報告書は案とのことですので、確定しましたら事務局より周知をお願いします。

続きまして、議題3「平成29年度パイロット事業の選定状況について」事務局よりお願いします。

【事務局：労働局・田沼】

神奈川労働局の田沼です。よろしくお願いします。

資料3を用いて説明をさせていただきます。実態調査の結果で品目をあげられているものから、前回の協議会でありましたパイロット事業をご理解いただき、改善に向けて前向きな荷主企業を探して参りました。

調査結果を見ますと、農産物とか排出物等の品目が書いてありますが、その中から調整に入っております。まだ、事業者名は公表できませんが、3月中にいろいろなところに回らせていただきまして、1者手応えのある会社があります。ただ、大きな会社のため、その配下の運送業者、着荷主との調整をしたうえで、3月中には回答をいただける予定になっております。多岐にわたる事業者のため、今回紹介は出来ませんでした。4月に入りましたら対象集団についてお知らせしたいと思っております。仮に調整が出来なかった場合は、資料3の品目の事業者からパイロット事業に協力いただける荷主を再度探しまして、出来るだけ早めにパイロット事業の選定を行いたいと思っております。

【遠藤委員】

現時点での選定状況についての報告ありがとうございます。

平成29年度のパイロット事業、荷主との調整をいただいているとのこと。3月中に回答いただけるとのことですので4月以降に事業者選定が出来ましたら事務局から委員の皆様にご報告をお願いします。

続きまして、議題4「平成29年度の協議会の進め方について」事務局の方からお願いします。

【事務局（運輸支局・三上）】

神奈川運輸支局の三上です。

私からは議題の4つ目「平成29年度の協議会の進め方について」をご説明させていただきます。お手元に配布しております資料4「トラック輸送における長時間労働の抑制に向けたロードマップ」をご覧ください。29年度の協議会の進め方でございますが、基本的には、このロードマップに沿って進めていくこととなります。従いまして今年度に引き続き③のパイロット事業（実証実験）の実施がメインテーマとなっております。なるべく早期に対象集団を選定いたしまして、パイロット事業を実施していきたいと考えております。

また、29年度の協議会の開催回数につきましては、今年度同様に3回程度を予定しております。まず5月6日に1回目、次に中間報告としまして9月10日に2回目、最後に最終報告としまして年度末の2月3月に3回目を予定しております。

加えて、29年度から30年度にかけて「ガイドラインの策定・普及」を行っていくことになっておりますが、現在、ガイドラインの策定につきましては、その内容等を国土交通省において検討していると聞いておりますので、方向性が見えてきましたら今後の協議会で事務局よりご報告をさせて頂きたいと思っております。

【遠藤委員】

ありがとうございました。

平成29年度の作業内容として引き続きパイロット事業を実施していくことと、平成28年度に神奈川にて行ったパイロット事業がガイドラインにどのような形で掲載されるのかは、今後中央協議会にて全国の事例を持って決めていくことになると思っております。先行して4月に中央協議会が開催されるとのことです。その中でガイドラインの形について方向性が示されると思っております。方向性が見えてきましたら、神奈川県協議会にも事務局からご報告させて頂きたいと思っております。中央協議会にガイドラインの案を伝えたい場合は、遠慮無く事務局に伝えていただければ、事務局より本局に報告して、中央協議会に意見をあげたいと思っております。今後の取組についてご意見がありましたらお願いします。

～意見なし～

29年度の5月か6月には次の協議会を行わせていただければと思います。

続きまして、議題5「その他」です。

委員の方から伝えたいことがありましたらお願いします。

【石橋委員】

神奈川トラック協会の専務の石橋です。

29年度に協会にて計画しておりますことについて、今日の説明にも関連することでもございますので、ご報告させて頂きたいと思っております。

最初に高山次長よりご説明いただきました資料1の資料の中で12ページのトラック運送業の取引条件改善に向けた取組についてで、価格交渉ハンドブック・リーフレットの作成というのがあります。これについては、今日の配布資料の中にハンドブックとリーフレットの現物がありますが、国土交通省にて、この資料を使いまして全国9ブロックでセミナーを開きました。ただ、全国で開いたセミナーですが全国9ブロックのため、一つ一つのブロックが結構広く、神奈川県トラック協会の会員が多く参加するという事はなかなか出来なかったため、協会員に対して周知をしたいと思っております。そのため、29年度の出来るだけ早い時期にハンドブックとリーフレットを使いまして同じようなセミナーを開催したいと思っております。今、全日本トラック協会と開催時期、内容について調整しております。

併せて、出来ましたら中央協議会の中に運賃料金の検討会がありまして、ホームページ

を見ますと、運賃料金を検討するうえでのアンケートの結果がありますのでセミナーの時に関係の方に来ていただき、これについての説明を検討会の様子と抱き合わせで説明していただければ良いかと思えますので、今後このような動きがあることをご報告させていただきます。以上です。

【遠藤委員】

ありがとうございました。

安定した輸送力を維持するためには、労働力の確保が必要です、労働力に見合った運送の対価を得るためには価格交渉が重要になりますので、トラック協会の取り組みにご期待をいたします。

他にご意見や情報提供があればお願いします。

特段発言等がないようですので、以上を持ちまして、議事次第の議題全てを終了といたします。

皆様の活発なご意見に感謝を申し上げます。

それでは、進行を事務局にお返しします。

【事務局（運輸支局・青木）】

皆様、長時間にわたるご議論を頂きありがとうございました。

また、次回開催につきましては、来年度を予定しておりますが、日程等につきましては、追ってご連絡させていただきますのでよろしくお願い致します。

本日は、誠にありがとうございました。

以上